



◆記事一覧

- P2-7 ● 町政執行方針
- P8-10 ● 教育行政執行方針
- P11 ● 予算概要
- P12-13 ● 町内就職者紹介
 - 警察官紹介
 - 地域おこし協力隊員紹介
- P14 ● 利尻富士町葬苑の概要
- P15 ● 保健師だより
 - わがまちタイムスりっぷ
- P16 ● ベイビートーク
 - 戸籍の窓口 他

利尻富士町葬苑完成

～落ち着きとやすらぎを感じる施設づくり～

『利尻富士町葬苑落成式』より

令和6年

6月号

No.259

広報 

いしり富士

令和6年度 町執行方針

未来を切り開くための 新たなスタート



令和六年利尻富士町議会定例会三月会議の開催にあたり、町政執行に臨む私の所信と施策の基本的な方針を申し上げます。

はじめに、去る一月一日に発生した令和六年能登半島地震では甚大な被害が生じました。犠牲になられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様に謹んでお見舞い申し上げます。

コロナ禍も一応の収束を見て、これからの利尻富士町の未来を切り開いていくための新たなスタートとしての一歩を踏み出す年と位置付け町政を推進してまいります。

また、利尻・礼文・サロベツ国立公園指定五十周年を迎えることから、これを契機に改めて国立公園の素晴らし

い自然環境の価値を再認識してもらおうとともに、次世代に引き継いでいくべく魅力を発信してまいります。

さて、私の三期目の任期も折り返しの年度を迎えますが、町長に就任してから一貫して申し上げている五つの政策方針を更に充実し結実させるため、今議会に関連する令和五年度各会計補正予算、令和六年度各会計予算を編成し、各条例の制定や一部改正などを提案しておりますが、「利尻富士町まちづくり創造総合計画」に掲げる将来像の実現に向け、まちの様々な課題に全力を傾注して、町政を執行してまいりますので、議員各位、並びに町民の皆様のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

一・魅力ある観光と漁業の推進

本町の基幹産業である水産業の状況についてですが、昨年の利尻漁協における町内の漁業生産額は十九億七千八百万円と、昨年より一億六千五百万円増額となり、平成二十年に利尻漁協が誕生以来、平成三十年に次ぐ二番目の生産額となりました。

昨今の水産業は燃油・資材価格の高騰や海洋環境の変化による水産資源の減少や変動に加え、ALPS処理水の海洋放出に伴う中国の日本産水産物禁輸措置など、多くの難題を抱えております。

本町においても昨年は天然昆布やタコなどの生産高が伸びた反面、サケの来遊は減少し、養殖昆布もヒドロゾアの早期付着により減産を余儀なくされるなど、海洋環境の変化に大きく影響を受けており、ナマコについても現状では禁輸措置の大きな影響は無いものの市場の動向を注視する必要があると感じており、安定して漁業生産できる浜づくりを目指すためにも、つくり育てる漁業を推進し、将来を担う若者にとつて漁業が魅力ある産業となるよう、国や北海道など関係機関と連携して取り組んでまいりたいと考えております。

水産振興の取り組みでございますが、まずは担い手対策として新たに二名の漁業後継者に対し磯船を贈呈する予定となっております。

また、離島漁業再生支援交付金や特定有人国境離島漁村支援交付金事業の実施により漁場の生産力向上や起業・雇用拡大の取り組みを進めるとともに、輸送費支援にも取り組んでまいります。

また、本町独自の取り組みであるリシリコンブ株主事業やブルーカーボン事業の実施により、利尻島の魅力を発信し、付加価値向上や養殖業の持続的な発展を支援してまいります。北海道が行う水産基盤整備事業では、富士岬沖及び鬼脇沖に魚礁設置と清川地先への囲い礁整備工事を継続し、海岸事業では流木等漂着物の処理を継続し実施してまいります。



ブルーカーボン調査の様子

港湾関係では、国直轄事業として駕泊港鬼脇港区の南防波堤とマイナス二・〇m物揚場の改良工事を継続するほか、港湾管理者としても、駕泊港本港と鬼脇港区の維持補修工事を実施するとともに、港湾の長期構想策定に向けた検討も進めてまいります。

次に観光業についてですが、昨年は新型コロナウイルス感染症の五類移行を契機に、徐々に国内外から観光客が戻りつつあることを実感できる一年となりました。

令和五年度上期における観光客の入込数は九万七千人、宿泊客延数は五万五千人と昨年より約二割増加しているものの、コロナ禍前との比較では八割程度の回復にとどまっております。

観光業全体を見ますと、人手不足、個人旅行の増加により夕食がとれない、交通アクセスの問題など様々な課題を抱えておりますが、それは本町のみな

また、利尻富士温泉保養施設については、新規発行される紙幣及びキャッシュレス対応可能な券売機を導入する



利尻礼文サロベツ国立公園
指定50周年イベント

らず近隣市町と共通の課題であるため、「きた・北海道DMO」を中心に、持続可能な観光地域づくりを推進するため、各地の観光協会や商工会・交通事業者等と連携し、課題解決に取り組んでまいります。

観光業の取り組みでございますが、滞在型観光推進のためスタンプラリー「利尻クエスト」の継続、第五十回と節目の大会となる北海道まつりの開催、利尻礼文サロベツ国立公園指定五十年事業の実施、インバウンド受け入れ環境整備のためのWiFi環境強化、利尻島の食と観光をPRするためイオン北海道(株)との更なる連携など、交流人口の増加と観光消費額の拡大を目指し取り組んでまいります。

昭和二十八年に制定された離島振興法が令和四年十一月に第七次として改正され、私たち離島で暮らす住民の生活の安定及び福祉の向上が引き続き図られており、また、平成二十八年四月に制定された有人国境離島法に基づき創設された特定有人国境離島地域社会維持推進交付金により、航路・航空路の離島住民割引運賃による住民の運賃低廉化をはじめ、輸送コスト支援、滞在型観光の推進、雇用の拡充についての支援が盛り込まれておりますが、同法の失効まであと三年となるため、本法の改正・延長・拡充強化に向け、しっかりと国や北海道及び関係機関との連携を図り取り組みを進めてまいります。

一、離島の持続可能な発展と生活環境の充実

とともに、令和五年度に実施設計を行った施設改修についても今年度から二年で改修を進めてまいります。

鬼脇地区においては、昨年整備した二石海岸公園入口に案内板を設置いたします。

商工業については、町内経済活性化のため地域振興商品券事業の継続、商工会の運営に対する補助、事業者のキャッシュレス決済導入等DX化の推進、事業継続や経営環境改善のための融資制度に伴う利子補給など、積極的に取り組んでまいります。

また、昨年まで新型コロナウイルス感染症対策として実施していたフェリー積載自動車航送料の助成事業については、引き続き令和六年度も実施してまいります。

航空路線運賃につきましては運賃の低廉化のほか、日本航空(JAL)・全日空(ANA)とも、お客様のより良い利便性と負担軽減を図るため、従来より行っております離島住民割引制度等の助成についても継続してまいります。

通年運航のJAL便(利尻-丘珠間)は、三月三十一日から十月二十六日までの夏期ダイヤにおいて、祝日と金曜日、土曜日、日曜日の他、ゴールデンウィーク及びお盆期間等を合わせた百三日間において午前便の増便が決定しており、この複便化により離島住民の生活交通路線及び道央圏から離島への観光路線として、更なる利便性向上を図ってまいります。

また、季節運航となっているANA便(利尻-新千歳間)は、今年度も六月から九月までの四ヵ月間運航されることとなっており、今後も離島住民の生活、医療、観光、経済の活性化に必要不可欠な生活路線でありますので運航事業者に赴き、航空路線の維持・存続を図ってまいります。

FDA(フジドリムエアラインズ)においてもチャーター便の運航が計画されており、期待をしておりますので、町道整備につきましましては、昨年度に

引き続き鶴泊市街中央線(保健センター-アシリ栄町)及び鶴泊市街五号線(道道-保健センター)の歩道及び排水管の改良を実施するほか、昨年度より着手した街路灯LED化により省エネルギー化を進めてまいります。

橋梁につきましましては、長寿命化計画に基づき定期的な点検を実施し経年変化による橋梁の健全度合いの把握のため、橋梁点検を継続して実施してまいります。

除排雪につきましましては、冬期間の安全な交通確保と快適な生活環境を守るため、効果的な除排雪に努めてまいります。

道道の整備関係では、鯉泊地区の道路改良及び富士野地区の橋梁掛け替え事業が引き続き実施予定となっております。

また、各地区において落石対策調査、雪況調査も実施予定となっております。住民が安心して通行できるよう維持管理



富士野地区の橋梁掛け替え事業

などを行っていただき、狹隘な地区の道路整備の促進につきましても関係機関と協議し要望してまいります。

住宅施策につきましては、公営住宅長寿命化計画に基づき見晴ヶ丘団地（除雪センター前）一棟四戸の建設工事と、富士見団地一棟四戸の個別改善工事を実施し、より良好な住宅環境整備を進めてまいります。

また、近年は町外からの職員採用が増加傾向にあるため、住居の確保及び居住環境の改善を促進するため、老朽化した職員住宅を解体し、住宅建設用地を確保するなど、職員住宅の整備を順次進めてまいります。

鴛泊市街地街なみ環境整備事業につきましては、施設整備するための実施設計・用地測量を実施し、整備の際に必要な土地の確保を進め、令和二年に解体した旧消防庁舎跡地に駐車公園、防火水槽の整備を実施してまいります。

水道関係につきましては、住民の生活や経済活動を支える重要なライフラインであり、安全で安心な水の安定供給に向けて、引き続き水道施設の維持管理に努めてまいります。

下水道事業につきましても、下水道ストックマネジメント計画を基に本年度も鴛泊・鬼脇終末処理場の長寿命化を図るため、管理棟の改修及び電気計装設備の更新事業を実施し、施設の適正な維持管理を行うとともに、鬼脇港区改良工事に伴う管渠移設工事を実施

し、安定した水処理を行ってまいります。

なお、簡易水道事業及び下水道事業につきましては、令和五年十二月議会において条例制定しましたとおり、今年度より公営企業会計へ移行いたしますが、今後も一層の効率的な管理運営に努め、経営の健全化を図ってまいります。

以上のとおり、離島地域で生活している私たちが、地理的特殊事情からくる様々な制約を改善し持続可能な発展を推進するため、国や北海道との連携を強化しながら住民の生活基盤の改善を図ってまいります。

三. 安心した暮らしを支える 防災基盤の強化

本年一月一日発生した能登半島地震では、利尻島においても平成二十三年の東日本大震災以来およそ十三年ぶりに津波注意報が発表となり、利尻島でも二十三センチの津波を観測しました。

本町においてはサロベツ断層帯において最大マグネチユード七・六の地震が想定され、北海道北西沖地震についてもマグネチユード七・八の地震が想定されていることから、地震・津波はいつ起きてもおかしくないとの考えの下、特に、この度の地震で改めて厳冬の避難所運営等について難しさを感じていることから、本町の防災計画等の点検等を進めてまいります。

また、毎年全国各地で大雨による土砂災害が発生しており、本町においても昨年八月二十五日に土砂災害警戒情報が発表され、幸い土砂災害の発生には至らなかったものの、りぷらと野塚自治会館を避難所として開設し、りぷらには観光客を含め最大八十一名が避難していることから、避難所における運営や衛生環境の強化を図るため、令和六年度において災害用大型トイレカー一台を整備するとともに、引き続き災害用備蓄品の継続整備はもとより、大雨等による土砂災害の危険性の覚知については関係機関との連携を密に迅速な住民対応にあたりるとともに、自主防災組織との避難所運営訓練を実施する等、災害発生による避難所運営に万全を期してまいります。



鬼脇防災訓練

消防関係では、冬期間の防火水槽除雪による水利確保の充実と緊急車両出動時の強化など、さまざまな災害に対

応できるようなホイールローダーを更新し、消防職員はもちろん消防団員との訓練強化に取り組んでまいります。

また、救急業務については救急救命士確保及び取得に向けた、職員の教育指導や訓練の向上を図るとともに救急体制の維持に努めます。

さらには、令和五年十二月に採用した職員一名を北海道消防学校に入校させるとともに、大型自動車免許一名、大型特殊自動車免許一名を職員に取得させ、消火力強化を図ってまいります。

治山・砂防対策として、町の事業では引き続き旭浜地区朝日川の改修工事と自治会から要望がありました練泊地区の排水改修工事を実施いたします。

稚内建設管理部では、昨年の大雨による災害復旧対応として、オチウシナイ川砂防堰堤内の除石とアフトロマナイ川導流堤内の除石を実施する予定となっております。

宗谷森林管理署では、令和五年度補正予算によりヤマナイ沢の床固工の整備と湾内地区深内沢川の床固工嵩上げ整備を実施し、溪間工二基の設計を実施するとともに、令和六年度においてアフトロマナイ川の床固め整備と、鴛泊・鬼脇両地区において保全整備造林として防火線等の整備と、本泊・南浜地区の下刈りを中心とした保安林整備が計画されております。

宗谷総合振興局林務課では、小規模治山事業としてヤマナイ沢治山施設内の排土工の実施を予定しております。

四．誰もが健康で充実した暮らしができるまちづくり

超高齢社会に突入し、団塊の世代がすべて七十五歳以上となる二〇二五年を目前に迎える今日、可能な限り住み慣れた地域で自立した日常生活を営むことができるよう「地域包括ケアシステム」の深化・推進を図るべく、四月からの第九期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画を策定し、地域に応じたサービス提供体制の確保、それらが将来にわたり適切に対応できる受け皿作り等の推進を進めてまいります。

介護保険料につきましては、三月一日に介護保険事業計画策定委員会の答申を得まして、計画期間中の人口の推移や介護サービス費用を推計した令和六年度から令和八年度までの保険料とした条例改正案を提出しております。高齢者のフレイル予防に重要とされる「外出と交流」「低栄養予防」等への支援策についても介護予防事業において継続し、社会福祉協議会をはじめ老人クラブや関係団体と連携しながら支援策の拡充を図ってまいります。

健康づくりにつきましては、「第二次利尻富士町健康づくり計画二十一」に基づき、乳幼児から高齢者までライフステージに応じた保健事業を実施しておりますが、今年度で十ヶ年計画の最終年となることから、現行計画の検証、町民の健康に関するデータ分析により現状把握を行い、健康課題を踏ま

えた新たな計画を策定し、健康寿命の延伸を目指してまいります。

生活習慣病対策として、特定健康診査とがん検診受診率の向上を図るとともに、重症化予防を重点とした保健指導や健康に対する意識や行動につながるよう普及啓発を進めてまいります。

第五類感染症となった新型コロナウイルス感染症の予防接種については、令和六年度から高齢者インフルエンザ予防接種と同じく定期接種となることが示されており、今後も引き続き、必要な接種体制の構築に努めてまいります。

介護サービス施設の運営にあたっては、人口構造や社会経済状況の変化を踏まえ、三年ごとに介護報酬の改定が実施されているところですが、今年度において各施設における基本報酬及び基準費用額の見直しが予定されております。

また、各施設における介護サービス管理システムを更新し、利用者の体調管理やケア記録、介護報酬請求事務などの効率化を図ってまいります。

秀峰園では、職員の確保やサービス向上に努め、入所者が安心安全に生活を送ることができる体制整備を図ってまいります。

職員の確保については、介護人材不足を補うため、引き続き関係各校への訪問や募集などを継続するほか、外国人労働者の受け入れに向け、介護福祉士の資格養成校を二年後に卒業見込み

である外国人留学生の受け入れを進めてまいります。

また、職員の住環境整備として、職員住宅の整備を進め、充実した受け入れ態勢を整え、島内外の人材確保や生活環境の充実化に取り組んでまいります。

デイサービスセンターでは、職員の確保に努め、安定した施設運営を目指し、これまでどおり通所される利用者の利便性向上やサービスの向上に努めてまいります。

また、近年の暑さ対策のため空調設備を整備し、利用者や職員の安全安心な環境づくりを進めます。

利尻島老人保健施設では、昨年再開した通所リハビリテーション事業について、利尻島国保中央病院と連携し、引き続き理学療法士の出向契約により、万全なサービス提供に努めます。

本施設は開設から二十四年が経過しており、躯体や機械設備等の老朽化が進み、例年施設維持管理費が増加傾向にあることから、今年度において大規模改修実施設計業務を行い、次年度以降年次計画により施設改修を予定しております。また、令和二年度より年次計画により更新している各居室の電動ベッドを今年度においては五台更新するほか、厨房用備品として業務用冷蔵庫を更新し、利用者が快適に過ごせる環境の整備と安心安全な食品衛生の徹底に努めてまいります。

駕泊診療所については、住民の健康

保持増進のため、利尻島国保中央病院と連携した効果的な医療の提供に努めます。また、近年の猛暑に対応するため診察室にエアコンを設置し、住民が快適に受診できるよう診療環境の改善を図ります。

五．学びを支え豊かな成長を育む教育の推進

子育ての支援施策では、こども家庭庁が掲げる「こども未来戦略」における「加速化プラン」など、国の動向に注視しながら支援の充実に取り組んでまいります。

特に全国的にも不足している保育士等有資格人材の確保については、利尻高校はじめ短大等の養成校との連携構築、まちのPR、小中高生からの職場体験やインターシップに継続して取り組み、昨年度拡充しました修学資金制度などを広く活用いただきながら人材確保に努めてまいります。

保育サービスでは、保育業務支援システムを導入し、保育士の業務負担軽減と保護者の利便性向上を図り、令和六年度入所予定児童五十三名への保育サービスの充実、安心安全な保育体制に努めてまいります。

また、利尻高校生への通学支援給付金事業では支援額を増額し、実施してまいります。また、利尻高校生への通学支援給付金事業では支援額を増額し、実施してまいります。また、利尻高校生への通学支援給付金事業では支援額を増額し、実施してまいります。また、利尻高校生への通学支援給付金事業では支援額を増額し、実施してまいります。

ながら過ごすことができる施設として四月から共用を開始しますが、令和六年度において、駕泊墓苑の解体と駐車場整備に着手いたします。

マイナンバーカードは、行政を効率化し、国民の利便性を高め、公平・公正な社会を実現する基盤とされていることから、国において利活用シーンの拡大を推進しており、当町におきましても身近な利用シーンを検討し、更なる普及の推進に努めてまいります。

本町の教育施策を推進するにあたっては、「利尻富士町教育大綱」を軸として、教育政策の目標を掲げ、それぞれの施策を着実に実行していく所存であります。

令和六年度に二年目を迎える「小中一貫教育」については、町としても児童・生徒の学びを支え、成長を促す重要な施策ととらえており、更なる充実した取組を期待するものであります。

また、学びを支える教育環境の一環として、学校におけるエアコン（冷房）導入は、昨今の暑さ対策と相まって喫緊の課題であることから、国の交付金を活用し三月補正において予算計上しておりますので、早期の整備を進めてまいります。

昨今の物価高騰などの影響を受け、学校給食で使用する食料品価格等が平均二十四パーセント上昇していることにより、給食材料費の両町負担分の見直しを図りながら、本来の父母等負担金（給食費）を小学校で月額三千七百

八十円を四千五百三十円、中学校で四千六百四十円を五千五百五十円に改正させていただきますが、引き続き児童・生徒を対象とした学校給食費の無償化を継続してまいります。

さらに、児童・生徒に対する効果的な教育活動に専念できるよう教職員の働き方改革を進め、部活動の地域移行などの課題に対して発揮される地域の人材や教育力のポテンシャルを引き出し、学校教育と社会教育それぞれの強みを連携させた取組を推進します。

例年、北海道エアシステム（HAC）のご協力により実施している「ふるさと教育体験事業」については、本年五月に小学六年生を対象として計画しており、利尻島上空を遊覧飛行する直接体験を通して、ふるさと利尻島への愛着や誇りを育む教育の充実に取り組みでまいります。

地方創生関係につきましては、令和三年度からの五ヶ年計画となる「第二期利尻富士町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しているところであり、昨年十二月に国立社会保障・人口問題研究所が公表した日本の地域別将来推計人口では、本町の二〇五〇年の推計人口は千三百四十九人となっており、これは本町の人口ビジョンの千六百一十一人を上回っていることから人口減少の流れが若干鈍化しているものと見受けられますが、決して楽観できる数字ではないことから、各項目において触れているものもあります。

創生のより一層の取り組みにより人口減少をさらに鈍化させるべく、出産支援事業や子ども医療費の無償化、利尻高校生への通学支援金の給付等十の事業に予算計上し、引き続き魅力ある地域づくりを促進してまいります。

六. 脱炭素社会の取り組み

本町は「二〇五〇年に温室効果ガスの排出量または二酸化炭素を実質ゼロ」を目指すべく、昨年三月に礼文町と利尻町との三町共同により、ゼロカーボンシティ宣言をいたしました。

宣言に合わせ、現在、利尻富士町地球温暖化対策実行計画を策定中であり、温室効果ガス排出量の現状推計・将来推計を把握した上で、本町にふさわしい削減目標を設定し、取り組むべき重点プロジェクトを町民に示してまいります。既に養殖昆布におけるブルーカーボンの取組が開始されており、また令和六年では電気自動車二台を導入し脱炭素社会へ向けた取り組みを進めてまいります。



役場で導入したEV車2台

七. 本町の財政運営について

本町の財政状況は、議会や町民の皆様方の行財政改革に対するご理解とご協力のもと着実に進められており、財政健全化法に基づく四つの指標も、すべて国の基準をクリアしています。

令和六年度の予算は、今後益々厳しさが増すことが確実視される本町の財政状況の中で、限られた財源の重点的・効率的な配分に留意し、町民皆様の安心・安全な暮らしを最優先に予算編成を行ったところであります。

その中で、建設事業費は、一般会計で八億八千九百五十八万円、特別会計・公営企業会計では二億七千七百九十六万円と合わせ、十一億七千五百四十四円となり、対前年度比では葬苑建設事業の完成に伴い十五・三パーセントの減額を見込んでおりますが、総額十一億円規模の事業費によって地域の雇用・経済の好循環を促すための景気対策を講じようとするものであり、当初予算に捕らわれず、財源を確保しながら経済対策を進めてまいります。

また、全国各地の皆様からご厚意により寄せられている「ふるさと応援基金」五億円を有効に活用すべく二十九の事業に充てたいします。

その結果、一般会計の予算規模は五十一億二千七百六十万円とし、対前年度比一億三千九十万円減、率で二・二パーセントの減額予算となっております。

令和6年度 建設事業一覧表

【一般会計】

単位：千円

事業名		事業費
総務費	職員住宅14解体工事	4,000
	職員住宅16解体工事	8,100
	職員住宅建設工事	68,000
	二石海岸公園案内板設置工事	2,200
	交通事故死ゼロ看板更改工事	1,200
	防犯ネットワークカメラ設置工事	1,721
	自治体システム標準化対象システム調査等業務委託	15,015
	引込高圧電線設備改修工事	1,683
	車輛購入費	7,900
	電気自動車購入費	8,309
	二輪車・軽OSS/JNKS連携オプション導入改修業務委託	1,540
	総合行政システム基幹系サーバー機器更新整備費	20,680
	住民基本台帳NW機器更新整備費	8,800
	期日前投票システム購入費	2,750
計	151,898	
民生費	保育所ICT化推進事業	2,622
	計	2,622
衛生費	鴛泊葬苑解体工事	21,000
	葬苑外構整備工事	7,000
	鴛泊葬苑解体工事監理業務	1,531
	計	29,531
農林水産業費	治山施設維持補修工事	5,000
	小規模治山事業	19,480
	離島漁業再生支援交付金	44,012
	海岸漂着物処理業務委託料	7,000
	特定有人国境離島漁村支援交付金	23,204
	水産環境整備事業負担金	7,000
計	105,696	
商工費	白い恋人の丘展望デッキ設置工事	2,162
	計	2,162
土木費	街路灯LED化更新工事	18,000
	町道改良工事（鴛泊市街中央線）	67,000
	町道改良工事（鴛泊市街5号線）	47,000
	町道改良工事（栄町4号線）	2,700
	利尻富士町橋梁点検負担金	5,000
	鴛泊港長期構想策定業務委託	11,374
	鴛泊港維持補修工事	8,066
	鴛泊港整備事業負担金	71,000
	鴛泊市街地街並み整備事業	100,700
	公営住宅個別改善工事	40,800
	公営住宅整備事業	188,800
	飛行場標識施設補修工事	2,926
	滑走路補修工事	3,465
	場周柵補修工事	1,000
計	567,831	
消防費	光ケーブル移設工事	1,000
	災害用大型トイレカー購入費	23,000
	計	24,000
教育費	鴛泊中学校体育館ギャラリー手摺補強工事	3,245
	鴛泊スキー場ロッジ踊場補修工事	2,600
	計	5,845
一般会計合計		889,585

また、港湾整備事業会計他七つの特別会計の合計で十六億七千四百二十二万二千円で、今年度から公営企業会計に移行した簡易水道事業会計と下水道事業会計の合計では五億五千四百七十八

万七千円となり、一般会計と特別会計並びに公営企業会計を合わせた総額は七十三億五千三百八十九万九千円とし、前年度対比〇・三パーセント減の予算としております。

最後に職員体制についてであります。一般職では令和五年度中に八名の職員が退職したのに対し、令和六年度の採用が三名となっており、人事異動の採用が三名となっており、人事異

動も大幅な見直しをしなければならぬ状況にあり、住民サービスの低下もあり得る事態となっておりますので、町民の皆様にはご理解を賜りますようお願い申し上げます。

令和6年度 教育行政 執行方針



はつらり

令和六年利尻富士町議会定例会三月会議の開催にあたり、教育行政の執行に関する主要な方針を申し上げます。

利尻富士町教育委員会は、教育基本法に定められた教育の目的と理念、そして新たに策定した「利尻富士町学校教育推進計画」における重点施策と「利尻富士町教育大綱」に基づく教育の一層の振興と充実を図るべく、令和六年度において次の四つの主要な施策を推進します。



一．可能性を引き出す 小中一貫教育の推進

コロナ禍を経て、学校におけるICTの急速な進化はその環境を一変させました。時代の流れや変化のスピードは速く、新しい時代に必要となる子どもたちの資質・能力の向上は至上命題となっております。

令和五年度にスタートした「りしり富士小中一貫教育」は小中九年間におけるめざす子ども像を「自然を愛する豊かな心と高い知性をもち、未来を生き抜くたくましい子ども」とし、一貫した指導体制や教育課程のもとその二年目を迎えます。

その推進の柱となる新たな計画がこの度策定した「利尻富士町学校教育推進計画」二〇二四年度（令和六年度）から二〇二八年度（令和十年度）となっております。

これからの子どもたちは視野を広げ、主体的に様々な変化や課題と向き合う中で人と人が結び付き、尊重し合い、協働しながら、よりよい未来の実現に向かって前進していく力が求められています。

どんな社会にも主体的に対応し、持続可能な社会の創り手となるためには感性を働かせ、目的を考え出し、目的に応じた創造的な問題解決を行うことができる人間の強みが重要になると考え、ふるさと利尻富士での学びや豊かな体験、文化芸術やスポーツでの感動

体験などを通じて、多様な人とつながり感情を共有し、よりよく生きる力を育む取り組みを重点的な施策として位置付け推進して参ります。

令和六年度、小中一貫教育における在籍予定児童生徒数は、駕泊地区で九十一名（小学校五十七名、中学校三十四名）鬼脇地区では四十四名（小学校二十六名、中学校十八名）の計百三十五名となっております。令和五年度と比較すると二名の減少となりますが、駕泊小学校では二・三年の学級が学級編成の基準により複式学級となり、今後も複式学級の増加が予想されますが、環境の変化を見据え大きな変化があったとしても持続的で魅力ある学校教育を推進する準備と体制づくりが必要です。そのため、少人数学級や複式学級での利点を活かしながら基礎・基本的な学力の確実な定着と一人ひとりの子どもの発達段階を考慮し、個に応じたきめ細かな指導計画による「個別最適」で「協働的な学び」に基づく学習スタイルの統一をさらに目指していきます。

二．学びと質を高める

環境の確立

子どもたちの主体的・対話的で深い学びを導かせるには、教室における授業改革が重要になります。先生がいなると学べなかつた子どもたちが、自らたくさんの種類の情報にあたり、友達との学びを参照しながら、過去の学びと

つなげて理解の構成を繰り返すために、情報端末やクラウドツールが不可欠なものとして機能しています。

このため、年間を通じた教員の小中合同による指導方法や指導体制の工夫、研修活動を深化させ、学力を保障する授業改革を進めるとともに教育活動の検証と改善を組織的に実践するサイクルの充実に努めます。

また、日々の授業で使用する小学校用教科書が令和六年度から新たな採択のもと使用されることから、指導用教科書を更新し、授業での児童のタブレット端末やデジタル教科書をシームレスな授業展開に結び付けていきます。

生成AIが急速に進化し、学習領域への利活用の可能性についても注目を集め、その実例が大幅に増加し、これまでの学習環境を大きく変えることが予想されます。このため、教員のICTスキルやリテラシー向上を図るため、「学校デジタル推進協議会」を主体としてインターネット関連合同会社との継続した研修事業を展開していきます。

コロナ禍の生活は、学校や家庭における生活や環境を大きく変化させ、いじめ・不登校児童生徒数の増加や体力低下など、子どもたちの行動等に影響を与えています。複雑化・多様化した課題の解決に向けては、これまで以上に学校と医療系専門家との組織的連携を強化するとともに家庭・地域社会との連携を深めることが重要です。

このため、北海道医療大学との連携

により、子どもたちの心と環境の改善へ向けたスクールカウンセリングをはじめとする児童生徒の個別のストレスチェックや大学教員による教職員や住民向けメンタルヘルス研修や講演会を開催するとともに、大学生のボランティア実習の受入れを実施し、「メンタルヘルスケアの先行地域」にすべく健康保持増進に係る取組とした「北海道医療大学メンタルヘルス連携事業」を新たに展開します。

また、特別支援学校や特別支援学級への在籍の増加がみられる中、障がいへの特性の理解や一人ひとりの子どもの実態に応じた指導方法など連携事業を通じて学習上や生活の困難を改善克服することができると期待されています。また、特別支援学校や特別支援学級への在籍の増加がみられる中、障がいへの特性の理解や一人ひとりの子どもの実態に応じた指導方法など連携事業を通じて学習上や生活の困難を改善克服することができると期待されています。

近年の猛暑は学校生活に支障をきたし、児童生徒等の命や健康を脅かす状況が続いており、学習環境の改善は喫緊の課題であることから、国の交付金を活用した冷房設備の全校導入を実施するとともに学校管理規則における休業期間を五十六日間に延長し、弾力的な運用を図りながらハードとソフトの両面で子どもたちの学びの場と学校活動が充実できる学校の暑さ対策のほか、学校施設の安全対策を進めて参ります。

三．地域との持続可能な教育活動の実現

将来的な人口減少が可視化され、地域と学校を取り巻く課題も多様化・複雑化し、学校だけでは解決が難しい課題は地域との連携を一層深めることが必要です。本町ではいち早く学校運営協議会（コミュニティスクール）を立ち上げ、その成果は地域ボランティアとして教育活動に携わったり、総合的な学習の時間との関わりや登下校時の見守り、さらには職場見学などの学習活動に参画していただきながら情報発信を行っております。

また、自然災害が頻発する中で子どもたちの防災活動は、有事の際の自らの行動や与えられた知識ではなく「自分事」としての防災意識を養うこ



鷺泊中学校1日防災学校の様子

とが重要であることから、関係機関と連携を深めながら「一日防災学校」の充実に努めます。

国の指針による中学校の「部活動地域移行」は、令和七年度までに休日での活動を段階的に移行できるよう、他の市町村でも検討の取組が進められ、その多くの課題は指導者の確保とされており、地域クラブ活動として運営方針を決定した自治体が少数に留まっている中、本町では昨年「地域移行協議会」を設置し、ニーズ調査をはじめとする検討協議を進めてきました。

これまで生徒数が減少する中でスポーツ系の部活動の主体は、バドミントンと卓球の個人競技のほか、中体連などの試合では合同チームを想定した鷺泊中学校サッカー部が活動をしていきます。

特に鬼脇中学校ではこれまでバドミントン種目のみの活動であったため他種目の選択肢がなく、全生徒が所属し活動が続けてきましたが、ニーズ調査の結果や地域からの熱い声を踏まえて、これまで少年団活動をしてきたサッカー種目を新たに設置し、鷺泊中学校との合同チームとして部活動顧問や地域指導者のもと、平日も含めて地域に移行することで、中体連への出場や「地域クラブ」として登録することにより、他の大会への出場の機会が増え、生徒の競技の機会と主体的な参加の活動を通じた自主性や豊かな心の育成に寄与でき、指導者も確保できることから、

令和六年度よりサッカー部を一部種目として地域へ移行する運営方針を決定したところです。

この運営方針の決定は、宗谷管内ではまだ事例もなく、道内でも実施を決定している市町村も少ないことから、モデル事例として立ち上げの課題解決にも貢献できるものと推察しつつ、他の種目についても令和七年度までに当協議会において協議を続けることとしております。

また、部活動の地域移行を含めた取組は、新たに策定した本町の「学校における働き方改革」アクションプランⅢ（二〇二四年度～二〇二六年度）として、教職員の業務改善による子どもへの指導や教材研究、教職員の資質・能力として、その向上に努めて参ります。



利尻FCの部活動指導

四・生涯学習と社会教育の充実

将来のまちづくりを担う子どもたちをはじめ、町民が学び合う喜びや、自ら学び続ける意欲を高めることができよう、芸術・文化体験やふるさと教育等の生涯学習事業を推進します。

そのため、「利尻富士町生涯学習推進計画（二〇二一～二〇三〇年）」における「学びあい」「ふれあい」「活かしかしい」を基本目標とした一人ひとりが学習を積み重ねる中から、地域に開わりを持つことや住民相互のふれあいを広げること、学んだ成果を様々な活動やボランティア活動で活かすことを通じて、地域の中で居場所や出番を獲得し、他者のためになっているという自己有用感を感じ取るなど、推進計画を理念とした事業をさらに充実



夏のチャレンジ教室

させていきます。

これまで子どもたちの放課後の安全・安心な居場所づくりと体験活動を通じた「放課後子ども教室」や「チャレンジ教室」は学校と家庭・地域の連携を図りながら指導員の熱心な活動が多くの世代へと引き継がれ、中学生や利尻高校生がその指導活動に加わり成果として表れていることから、継続して実施して参ります。また、スポーツへの親しみは心身ともに明るく健康で豊かな生活の実現につながっていくことから、関係団体への支援とともに事業の運営方法を時代に応じた効率的で充実した内容へとリニューアルしていきます。

さらに子ども同士の交流が育めるように町外との子どもたちの交流事業やリーダー研修などの事業やこれまでも実施してきた利尻島遊覧飛行を継続し、「ふるさと教育体験事業」として郷土の愛着を育むとともに航空教室を通じた職業知識を醸成させます。

文化・芸術は人々の創造性を育むものであるとともに、他者との共感や相互理解を促すなど、地域社会の基盤の形成につながることから、まちの歴史や芸術・文化に触れる機会の提供、文化財の調査・保護、文化・芸術活動を行う団体への継続的な支援と町民の活動への参加を図るとともに活動内容についてもインターネット上でも公開できるように工夫して参ります。

これらのように地域に潜在する人的



航空教室の様子

・物質的資源を活用し、放課後や土曜日等を活用した社会教育と学校との連携は、これからの社会を創り出していく子どもたちが、社会や世界に向き合い関わり合い、自分の人生を切り拓いていくために求められる資質・能力として培われ、地学協働として自立した地域社会の基盤の構築と活性化につながります。

利尻高等学校に商業科が設置されて以来、商業科目で培われた学力は社会に貢献できる力としてこれまで多くの生徒を送り出し、六十二年余りの長い歴史が令和六年四月から普通科一貫口となり途絶えませんが、利尻高等学校との系統的かつ組織的な教育活動による接続性と深い連携は、小・中・高十二年間を見通した地元での多様な力を身につける学びとして、引き続きこれまでの特色ある商業クラブ活動への支援、ふるさと教育事業やキャリア教育への

助成など、地元利尻高校での学びの継続として引き続き支援を行って参ります。

次代の社会を担う子ども一人ひとりを社会全体で応援するため、子育てにかかる経済的な負担の軽減や安心して子育てができる環境整備が総合的に進められている中、育英資金貸付事業や準要保護世帯への就学援助費支給をはじめ、修学旅行費や学校トイレへの生活用品の設置など各種支援と同時に、現下の物価高騰を踏まえた学校給食費の完全無償化を引き続き町の財源により保護者負担へのご高配をいただけますことは、義務教育における全ての子どもたちに平等で栄養バランスのとれた学校給食を提供でき、子どもの健康や学習機会が損なわれない制度として深謝申し上げます。

おわりに

以上、教育行政の推進方針と主要な施策について申し上げます。

来る令和六年度は改定された各種計画の実行管理のもと、確実に成果につながる施策として深化させ、すべての教育活動を学校、家庭及び地域はもとより、関係機関や団体等との連携を図りながら、本町教育のより一層の充実及び発展に全力で取り組んで参ります。以上、町議会議員の皆様並びに町民の皆様のご理解とご協力を心からお願ひ申し上げます、教育行政執行方針といたします。

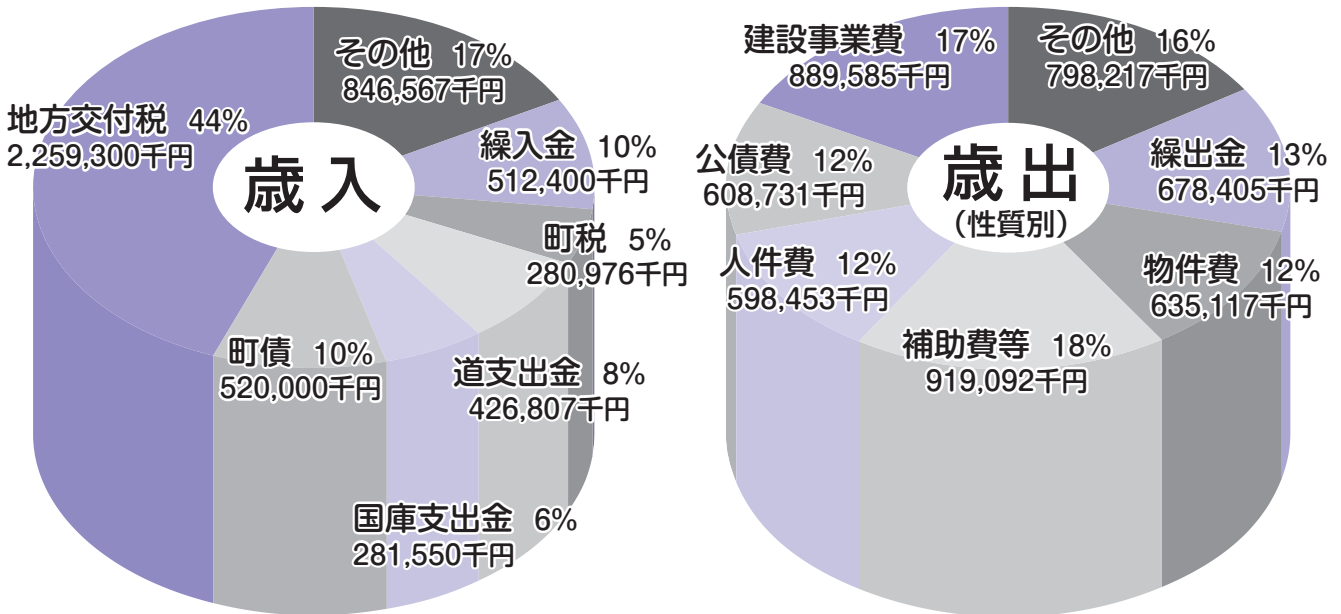
一般会計の歳入・歳出予算額は…

51億2,760万円

令和6年度の一般会計当初予算額は、前年度比2.2%の減となっております。特別会計の合計16億7,142万2千円、公営企業会計の合計5億5,478万7千円と合わせた町の予算総額は73億5,380万9千円で、前年度比約0.3%（2,312万円）の減額となります。

令和6年度の
予算概要
をお知らせします。

一般会計予算は？



■一般会計予算(目的別歳出予算)

単位：千円

科目	令和6年度	令和5年度	比較
議会費	45,666	45,296	0.8%
総務費	917,551	770,072	19.2%
民生費	700,487	676,535	3.5%
衛生費	340,843	779,723	△ 56.3%
労働費	85	86	△ 1.2%
農林水産費	175,059	214,442	△ 18.4%
商工費	191,608	218,844	△ 12.4%
土木費	1,163,803	967,086	20.3%
消防費	197,142	193,607	1.8%
教育費	258,864	251,626	2.9%
地方創生費	20,064	20,622	△ 2.7%
公債費	608,731	646,492	5.8%
諸支出金	504,696	454,068	11.1%
災害復旧費	1	1	0%
予備費	3,000	3,000	0%
合計	5,127,600	5,241,500	△ 2.2%

■特別会計予算

単位：千円

科目	令和6年度	令和5年度	比較
簡易水道事業特別会計	0	94,724	皆減
下水道事業特別会計	0	376,805	皆減
港湾整備事業特別会計	62,759	66,763	△ 6.0%
温泉事業特別会計	83,877	78,436	6.9%
国保事業特別会計	379,541	389,974	△ 2.7%
後期高齢者医療特別会計	47,807	45,016	6.2%
介護保険事業特別会計	316,045	338,165	△ 6.5%
介護サービス特別会計	663,023	622,323	6.5%
歯科施設特別会計	50,176	56,825	△ 11.7%
国保施設特別会計	68,194	66,398	2.7%
合計	1,671,422	2,135,429	△ 21.7%

■公営企業会計予算

単位：千円

科目	令和6年度	令和5年度	比較
簡易水道事業企業会計	100,318	0	皆増
下水道事業企業会計	454,469	0	皆増
合計	554,787	0	皆増

町内 新就職者紹介



- ①出身地 ②配属先 ③趣味・特技 ④今後の抱負



いとうそういちろう
伊藤漱一郎さん

- ①釧路市
- ②利尻富士町役場 会計課
税務こくほ係
- ③読書、サッカー観戦
- ④私の今後の抱負は頼りがいのある町職員になることです。今の私は能力が低く精神的にも未熟なので、職場の仲間や住民の方々から見れば、頼りなく映っていることかと思えます。しかし、必ず成長して「この人に頼りたい。」と思われるような存在になりますので、どうか期待しててください。



かたがわゆうと
片川雄斗さん

- ①礼文町
- ②利尻富士町役場 会計課
税務こくほ係
- ③アウトドア・スキー
- ④7年ぶりに家族5人で利尻富士町に戻ってきました。以前に住んでいたとは言え、今はまだ、慌ただしく過ごしていますが、一生懸命に仕事を頑張り、一生懸命に遊びたいと思います。家族ともども、どうかよろしくをお願いします。



やだ
矢田あやのさん

- ①利尻富士町
- ②総合保険福祉センター
すこやか保健係
- ③読書、料理
- ④以前より保健センターでパート職員として働いていましたが社会人採用枠で町職員として働き始めて、はや2か月となりました。これからは、少しずつでも責任のある仕事を任せてもらえるよう、1つ1つの事に丁寧に取り組んでいきます。微力ながらも町民の皆様のお支えになれるよう頑張りますのでよろしくをお願いします。



ふるかわももか
古川桃香さん

- ①紋別市
- ②老人ホーム「秀峰園」
介護福祉士
- ③料理
- ④今まで高校で学んだ事を生かし、利用者様に介護してくれて良かったと思って頂ける様努力をしていきたいです。また積極的に意見を話し、楽しいと思って頂ける様な場をつくり、笑顔で施設の中でも暮らしていける場所を雰囲気とともにつくっていききたいです。



かわこしまいか
河越莓夏さん

- ①利尻富士町
- ②利尻空港振興公社
航空会社代理店業務
- ③野球観戦、スキー
- ④町民のみなさんが、安心・安全で快適な旅行を送れるように、精一杯サポートしていきたいです。また、観光客のみなさんに利尻島の良さを伝えていけるよう積極的にコミュニケーションを取っていききたいです！よろしくお願い致します！



たかはし
高橋しずくさん

- ①利尻富士町
- ②利尻空港振興公社
航空会社代理店業務
- ③音楽鑑賞、映画鑑賞、
お香を焚くこと
- ④まだまだ出来ない業務は沢山ありますが、今出来ることを精一杯やりきって色々な知識を学んでいきたいです！トレードマークのえくぼを輝かせながら、空港でお待ちしております。



えんどうじゅんた
遠藤純太さん

- ①利尻町沓形
- ②株式会社 中田組
オペレーター
- ③HIPHOPを聴くこと、歌うこと
- ④多くの資格を得て、安全第一で地元をより良い町にできるよう頑張っていきます。また、野球も両立して楽しい日々を送れるようにしていきたいと思っています。

北海道庁からの
派遣職員を
ご紹介します！



このゆき
今野雄貴さん

- ①札幌市 ②利尻富士町役場 企画政策課 ③映画鑑賞
- ④4月の異動により、北海道石狩振興局建設指導課から利尻富士町役場に派遣となり、一緒に働かせていただくことになりました。利尻富士町の美しい景観を眺めながら暮らしていけることを大変楽しみにしています。まだまだ慣れないことばかりで圧倒されるばかりですが、私にできることを精一杯に取り組み、皆さんのお力になりたいと思いますので、よろしくお願いいたします。



地域おこし協力隊員を紹介するよ〜♪



ほり い しゅん すけ
堀井俊甫さん

【出身地】埼玉県深谷市

【担当業務】さけ・ます孵化場栽培漁業推進員として活動

【趣味・特技】料理

【今後の抱負】私が従事しているさけの孵化・放流は3～5年先を見据えた事業です。今年の春に海へ出た稚魚が島に帰ってくるのは、私も協力隊の任期を全うしている頃になります。

そんなサケに做うわけではありませんが、私もこの貴重な3年という期間を活かし自身の成長に努めながら地域の一員として出来ることを増やしていきたいと思っています。至らない点もあるかと思いますが、どうぞよろしくお願い致します。



まつ まえ まさ ひろ
松前雅浩さん

【出身地】北海道札幌市

【担当業務】観光振興に関わる事、SNS

【趣味・特技】旅行

【今後の抱負】SNSを通じて日本全国、または海外の方に利尻の魅力を知ってもらい、実際に旅行に来てもらうことを目標にしています。そのために、ドローンを使った空撮も今後行っていきます。

他にも利尻の食材を使った新しいグルメを作りたいと思っています。その活動を通じて地域の方とも関わっていただけたらと思います。

警察官紹介



鬼脇駐在所 巡査部長 おだじま ひろ ゆき
小田島 宏 幸さん

この度、鬼脇駐在所に着任しました小田島宏幸（おだじまひろゆき）と申します。北海道小樽市出身で37歳になります。

北海道警察本部機動隊から参りました。機動隊では、山岳遭難救助隊員として、人命救助に携わっていました。

利尻富士町の安全・安心の確保のため、自分の業務に責任を持ち、全力を尽くして頑張ります。



鴛泊駐在所 巡査長 の なか りょう すけ
野 中 亮 佑さん

皆さんこんにちは、4月から鴛泊駐在所に着任した野中亮佑（のなかりょうすけ）です。

私を含め3人（妻、長男）でこの利尻富士町に引っ越してきました。気軽に声をかけてください。よろしくお願いします。

利尻富士町葬苑 概要紹介

このたび、建設中でありました新葬苑「利尻富士町葬苑」が3月に完成いたしました。

これもひとえに、多くの皆様の格別なるご高配と町議会ははじめ町民皆様のご理解とご協力の賜であると深く感謝申し上げます。

近年、老朽化が著しく不便をおかけしていた旧施設を一新、将来に向けて安定的な火葬サービスを提供していくにあたり、効率的な行政運営を確保しつつ整備を進めてまいりました。すでに4月1日より供用開始しており、人生の終焉の儀式の場として、尊厳と格調を保ちながらも親しみを持ってご利用いただけるようお願いしております。



工事概要

- 構造 鉄筋コンクリート造1階建て
- 規模 建築面積 381.52㎡
延床面積 310.48㎡
- 事業費

総事業費	471,146千円
調査設計	31,317千円
建築主体	265,100千円
電気設備	23,100千円
機械設備	31,900千円
火葬炉設備	55,000千円
外構工事	48,400千円
用地調査	12,100千円
備品購入	4,229千円

施設 コンセプト

1. 人生終焉の場として、落ち着きとやすらぎを感じる施設づくり
2. 周辺環境に配慮した潤いのある施設づくり
3. 訪れる人や職員にやさしく、安心して利用できる施設づくり
4. 公害対策や環境負荷に配慮した施設づくり
5. 維持管理がしやすく効率のよい施設づくり



待合室



小上がり



炉前ホール

保健師だより

総合保健福祉センター

◆熱中症予防のポイント

今年の夏も暖かい空気に覆われやすく、「猛暑」となる可能性が高いため、熱中症の予防がとても大切になります。下記のポイントをチェックし、今年の夏を乗り切りましょう！



暑さを避けましょう



涼しい服装や日傘・帽子の使用を心がけることが大切です。エアコンなどの利用も有効です。

こまめに水分補給を(塩分補給も)



喉が渴いていなくても、こまめな水分補給をしましょう。塩分補給も忘れずに！

暑さに備えた体づくりを



無理のない範囲で適度に運動(毎日30分程度が目安です)。水分補給は忘れずに！

日頃から体調管理



栄養バランスの良い食事、十分な睡眠、適度な運動で規則正しい生活が大切です。体調が悪いと感じたら無理せず自宅で静養を。

活動前の「プレクーリング」で熱中症対策も!

外出や運動をする前に、アイススラリー(スポーツ飲料をシャーベット状にしたもの)を飲むと深部の体温を低下させることができると言われています。

※プレクーリングとは、あらかじめカラダを冷やしておくことです。



わがまちタイムスりっぷ

連載⑥3 鬼脇港の基石

鬼脇港の南防波堤基部には、港湾整備のはじまりを示す資料がのこされています。

それは、昭和3年の起工式の際に使われた「基石」と工事の概要を刻んだ石銘板(下図)です。鬼脇港は当時天塩や小樽と近く、流水禍がほとんどない港として利用されていましたが、船入潤がなく、時化によりニシンなどに多大な損害が出ていたため、港湾築設が望まれ、3年半の歳月をかけ完成されました。



基石の投入



石銘板(上)と基石(下)

当鬼脇漁港ハ南堤七百八十尺北堤五百十尺埋立三千三百七十九坪九一被覆面積七千三百坪ニシテ工費三十八万四千円内二十四万四千円ハ國費ノ補助ニ依リ村直営工事トシテ昭和二年十二月許可ヲ受ケ昭和三年三月起工シ昭和六年十月竣工シタルモノナリ

鬼脇村長 吉田音吉

助役 松尾重吉

工事担当技術者 野田栄一

工事顧問 北海道廳技師工學士 古山癸一

北海道廳技師工學士 平尾俊雄

池内善太郎 松谷春治 藤井甲太郎

村會議員兼 赤坂和一 崎谷茂平

漁港委員 板坂又二 石川政治 原口清三郎

村會議員 大島玉一郎 加納嘉藏 横内喜一郎

横内清太郎 中川仲藏 阿保惣治郎

桐山三四郎 三橋平吉

小樽市

石匠 棟方刻

記事に対するご意見などは、教育委員会 山谷：☎82-1370までお寄せください。

ベイベーター

2人の元気な赤ちゃんを紹介するよ!



いの うえ りょう た
井上 稜大くん
R6. 1. 19 生

【両親】 智雪・いよ
【住所】 栄町1

はじめまして！井上稜大です。ぼくは大好きなお姉ちゃんとパパとママと4人で暮らしているよ。たくさん飲んで寝て遊ぶですくすく大きくなっているところ。ぶくぶくほっぺとむちむちおててが自慢なの。お話が大好きで、話しかけられるとにこにこになっちゃうんだ！ぼくを見かけたらぜひ声をかけてね！



す な が そ ら
須長 蒼空くん
R6. 4. 20 生

【両親】 慶彦・梢
【住所】 鬼脇2

はじめまして！僕の名前は蒼空です。パパやママ、おじいちゃんとおばあちゃん！それにいとこのお兄ちゃん、お姉ちゃんみんなのアイドルしてます。お気に入りには柴犬のぬいぐるみコタくん。早く僕のお顔や声を聞かせたいな～。

戸籍の窓口

♡ご結婚おめでとうございます♡

月日	氏名	住所	月日	氏名	住所
R 6. 1. 11	佐々木諒介 様	栄町1	R 6. 2. 22	小倉 拓真 様	鬼脇1
	藤田かおり 様	港 町		松原美早紀 様	鬼脇1

★お誕生おめでとうございます★

保護者	続柄	氏名	月日	住所
井上 智雪・いよ 様	長男	稜大 (りょうた) くん	R 6. 1. 19	栄町1
須長 慶彦・梢 様	長男	蒼空 (そら) くん	R 6. 4. 20	鬼脇2

◆お悔やみ申しあげます◆

氏名	月日	年齢	住所	氏名	月日	年齢	住所
東出 照昭 様	R 5. 12. 10	81歳	栄町1	蛭子 源一 様	R 6. 1. 13	95歳	栄町1
川村松太郎 様	R 6. 1. 22	85歳	鬼脇1	藤澤 勇 様	R 6. 1. 24	87歳	野 塚
佐々木慎吾 様	R 6. 2. 5	32歳	石 崎	秋元 隆 様	R 6. 2. 7	67歳	大 磯
工藤 重美 様	R 6. 2. 15	77歳	本 泊	岡本 順治 様	R 6. 2. 19	70歳	栄町1
正田ミツエ 様	R 6. 2. 22	95歳	鬼脇1	坂本 勇 様	R 6. 2. 24	92歳	富士岬
北島 俊生 様	R 6. 2. 28	83歳	本 町	南 哲也 様	R 6. 2. 29	87歳	本 町
西谷 千代 様	R 6. 3. 3	107歳	鬼脇1	大野 豊 様	R 6. 3. 10	91歳	南 浜
松川 和宏 様	R 6. 3. 19	62歳	鬼脇1	飯田 禮子 様	R 6. 3. 28	99歳	鬼脇1
麓 貴美子 様	R 6. 4. 3	89歳	鬼脇1	秋元ヒサエ 様	R 6. 4. 4	92歳	大 磯
川村ハツエ 様	R 6. 4. 11	101歳	鬼脇1	石川 敬子 様	R 6. 4. 23	97歳	栄町2

編集後記

うに・のな漁が解禁となり、観光客も動き始め、これから利尻の夏本番を迎える季節となりました。

昨年は8月下旬に大雨が降り、各地区で土砂の被害もありました。

近年の異常気象に備え、今一度、避難箇所、防災用品の確認を行い防災の意識を高くお持ちになっていただければと思います。

また、今年開催50回を迎える北海島まつりなどイベントも多く控えておりますので、熱中症にも十分気を付け、皆様が健康でより良い利尻の夏を過ごされることを心よりお祈りしております。

人口のうごき (令和6年5月31日現在)

	男	女	計	世帯
鴛泊	755	768	1,523	822
鬼脇	309	345	654	390
合計	1,064	1,113	2,177	1,212